

市P連だより

あきたっ子

平成21年12月18日

No.108



発行 秋田市PTA連合会 市P連シンボルマーク
 編集 総務広報部
 事務局 秋田市山王二丁目1-53山王21ビル内
 ☎866-2248 FAX 866-2252
 E-mail:akitapta@cna.ne.jp
 http://www.akita-pta.jp/

子どもたちが新世紀の担い手として成長してくれることを願い、「あきたっ子」としました。

新屋地区
(勝平小学校の子どもたち)



第2回 土崎VS新屋 大綱引き対決

秋田公立美術工芸短期大学 平成21年10月4日



土崎地区
(土崎小学校・港北小学校の子どもたち)

目次

◇土崎VS新屋 大綱引き対決	1	◇スナップ あきたっ子	4
◇第57回 全国PTA研究会 宮城大会		◇秋田市PTA連合会各部門活動報告	5
◇第41回 東北ブロック研究会	2	◇平成21年度 球技大会結果報告	6
◇私達の地域と活動	3	◇表紙の説明	6
◇森の学校 水と緑の子どもサミット	4	◇あとがき	6

向き合おう！ まっすぐに 語り合おう！ 子どもの未来のために

第57回 全国PTA研究大会 宮城大会

第41回 東北ブロック研究大会

分科会 8月21日(金) 仙台市以外の宮城県内11会場にて開催

全体会 8月22日(土) グランディ21 セキスイハイムスーパーアリーナ

「向き合おう！ まっすぐに 語り合おう！ 子どもの未来のために」の大会スローガンのもと、第57回全国PTA研究大会 宮城大会が開催されました。

全国からは約8,000名の参加があり、秋田市PTA連合会からは21名が参加し、11の会場に分かれて開催された分科会では、PTAの組織・運営や情報とメディアリテラシーなど、自分が興味を持ったテーマについて学んでまいりました。



渡辺会長と受賞校

また、全体会では「脳科学から見た 早寝・早起き・朝ごはんの大切さ」という演題で、'脳トレ'でおなじみの川島隆太先生(医学博士)の講演がありました。ステージ

上の大型ディスプレイを利用し、参加者の脳の老化診断を行うことから始まった約2時間の講演は、楽しいムードの中、あっという間に過ぎた感じでした。とても多くのことを学ばせていただきましたが、朝ごはんの大切さについて時間を掛けてお話をされておりましたので、簡単にご紹介いたします。

- ①脳のエネルギー源はブドウ糖。朝ごはんを食べないで学校に行っても、80%くらいしか頭が働かない(計算力データで示されていました)。
- ②朝ごはんの質にも問題がある。白米やパンだけを食べても脳は活性化しない(食べない場合とあまり変わらない)。
- ③ブドウ糖を生かすには必須アミノ酸のリジンが重要。このリジンの摂取のために、おかずも食べることが大切。
- ④リジンは特に大豆に多く含まれている。朝ごはんでは、具だくさんのお味噌汁を食べる、納豆や豆腐などを食べることをおススメ。

朝ごはん、もっと大切にしていきましょう。

東北PTA連絡協議会 会長表彰 受賞校 8月22日(土)

東北PTA連絡協議会表彰式に出席して

秋田市立城南中学校
PTA会長 田子多津子

本年度、本校PTAが東北PTA連絡協議会より優良団体として表彰され、8月22日(土)宮城県総合体育館で行われた表彰式に出席してまいりました。このたびの受賞は、長年にわたり継続してきた親子早朝奉仕作業や登校指導・広報の作成、さらに新たに加えた下校指導等、諸先輩方から私たちに伝えられてきた日頃の地道な活動の積み重ねの結果だと思われまふ。歴代の役員・会員の皆様の活動に敬意を表するとともに、私たち現役会員は、この受賞を励みとして、PTA活動の意義を改めて見つめ直し、会員ひとりひとりが少しずつ力を出し合うなかで、子どもたちのためばかりでなく私たち自身が向上することも含めて、活動を充実させていきたいと思ひます。そしてPTA活動が、学校と家庭が子どもたちにとって落ち着いて過ごせる居場所となることにつながると願っています。

表彰式に先立ち、前日より開催されていた第57回日本PTA全国研究大会・みやぎ大会にも参加する機会を得ました。大会の規模の大きさにも驚かされましたが、全国各地におけるPTA活動の実践例に接し、多くの方々が様々な思いを持って熱心にPTA活動にかかわっていることを実感できたのは、貴重な体験でした。

最後になりましたが、このたびの受賞に際し、推薦の労を執ってくださいました秋田市PTA連合会会長をはじめ、関係各位に感謝申し上げます。

PTA会員の協力の賜物

秋田市立寺内小学校
PTA会長 伊藤 仁

寺内小学校創立20周年の記念の年に、このような名誉ある賞をいただき、PTA会員一同大変喜んでおります。この表彰への推薦のお話をいただいた時は、「何か特別なことをしているかな？」と疑問に思ったところもありましたが、誰にでもできるPTA活動を評価していただいたものと感謝しております。

PTA活動をする際に、参加率が低いことや協力してくれる方が少ないなどといった問題を耳にすることがありますが、当校では1人1役を実践していることから、1児童につき2年に1回は役員を引き受けることになっており、毎年150名前後の人員を確保することが出来ております。また、8つに分かれた専門部ではそれぞれの家庭の事情に配慮しながら、出来る範囲のことをみんなで取り組む、広範囲(多くの人の手により)で、低負担の活動がなされております。誰にでも出来るPTA活動を実践することで、必然的に学校に足を運ぶPTA会員の数も増加し、そのことが学校への関心を持つことにつながり、結果として学級懇談やPTA総会への参加率が上がる要因にもなっていると感じております。

このように胸を張って誇れる活動をスタートさせ、地道に活動を続けてこられた歴代PTA会員の諸先輩方、そして今も「子どもたちのために」と惜しみない協力をしてくださる現PTA会員の皆さんの協力があつたからこそ、今回の表彰へとつながったものと感じております。この表彰を励みに、PTA会員一同これからも張り切って活動してまいりたいと思ひます。ありがとうございました。

私達の地域と活動

南部地区

大住小学校

創立三十年を迎えて

大住小学校PTA会長 佐藤 一則

大住学区は秋田市南部の国道十三号線と雄物川の間に位置しており、牛島・仁井田・大住の三地区から構成されております。中心部は大住団地と呼ばれ、かつては田園地帯でしたが、昭和四十三年から団地の造成が始まり、現在に至っております。

秋田市南部の牛島・仁井田地区の児童数急増に伴い、昭和五十五年四月に、児童数九二一名で大住小学校が開校しました。現在の児童数約七七三名、市内四十七校の中で四番目の児童を有しています。歴史は五番目に若い学校ですが、今年で三十年という記念すべき節目を迎えました。子どもたちにとっても「輝け！太陽と風の子たち 深めよう！友との

きずな」というスローガンをもとに活発な活動と素敵な笑顔を見せ続けてくれます。春のスポーツ祭をはじめ各種事業を進めてまいりました。残念ながら今年「新型インフルエンザ」に振り回され、念願の記念式典・記念学習発表会・記念祝賀会は、断念せざる得ませんでした。しかし三十年というキーワードでPTA・学校・地域が一体となって様々な事業に参画しております。地域の皆様のお力添えもいただきベルマーク

事業では、長年の活動によりグラウンドピアノの購入、そして記念コンサートを行いました。

昨今のコミュニケーションが希薄な中、地域の皆様方の「学校への熱き想い」には本当に感謝しております。四年前に子どもの安全を守るうと発足した「大住小安全パトロール隊」による毎日の巡回活動のおかげで子どもたちの安全が確保されております。諸先輩方のこの大住への熱き想いを将来、この大住を引っ張っていく子どもたちに引き継いでいきたいものです。



地域団体との活動の紹介(市民憲章との声かけ運動)

西部地区

勝平中学校

勝平日吉神社祭典への参加

勝平中学校PTA会長 金森 久幸

勝平地区は、以前は新屋地区と地続きでしたが、昭和十三年に雄物川放水路が完成したことにより、新屋地区から分断されました。その昔、日吉神社が当地区にあったことから、地域のさらなる飛躍を願い、また、地域の象徴として、平成四年に勝平日吉神社が建立されました。

十月十日、晴天の下、中学生たちは、勝平コミュニティセンターに集合しました。例年、小学生が樽神輿を担いでいるのですが、今年はインフルエンザの流行により、残念ながら不参加となりました。参加した中学生二十二名は、この日の空のような青い半纏に、赤く「祭」と染め抜かれた豆絞りの鉢巻という出で立ちで、雅やかな神輿を肩に、午後二時にコミセンを出発、「ワッショイ、ワッショイ」と威勢のいい掛け声を

かけながら、地区の中を練り歩きました。沿道から声援を受けながら、少し照れくさそうに、約3kmの行程を巡行し、途中加わった保育園児らとともに、午後三時半に勝平神社に到着しました。一方、午後から境内特設舞台で行われた奉納余興には、吹奏楽部が参加し、祭典を盛り上げました。これらの生徒の活動は、私たちに、生徒たちには地域の一人としての自覚と、無事役割を果たせたという自信をもたらしたと思います。



本校では、このほかにも、地域清掃、福祉大会や運動会への参加などを行っております。これからも、地域行事への積極的な参加をとおして、生徒と地域の方々との絆が、いっそう強まっていくことを期待しております。

森の学校 水と緑の子どもサミット

テーマ

「豊かな水と緑を未来に」
私たちの町の美しい未来の姿は？

平成21年9月26日(土)・27日(日)
秋田県森林学習交流館・プラザクリプトン



絵画の部

- ✦最優秀賞
秋山 温純さん (秋大附属小学校 4年)
「森は友だち 森で遊ぼう」
- ✦優秀賞
鎌田あよんさん (山谷小学校 6年)
「森は宝物、ホタルの光いつまでも」

作文の部

- ✦最優秀賞
大関 千潤さん (湯沢市立川連小学校 3年)
「未来の地球のために今できること」
- ✦優秀賞
小玉 夏帆さん (桜小学校 3年)
「ゆたかな秋田」

スナップ あきたたっ子



高清水小学校 10月4日(日)
「ソーレひけ ドッコイショ」
東門ふれあいデー
高清水秋田城太鼓クラブと同好会の子
どもたちの太鼓に合わせてニュー
ソーラン節を踊る6年生。



大住小学校 7月8日(水)
たくさんの種が実るように願いを込
めて一粒一粒丁寧に植えました。作
物を育てる大変さと、みんなと協力
する大切さを実感しました。



山谷小学校 10月17日(土)
「番楽」
太平山谷地区に古くから伝わる山谷
番楽 (市指定無形民俗文化財)
小学校の子どもたちは伝統を守り続
ける為に、一生懸命練習を重ねてます。

秋田市PTA連合会各部門活動報告

専門部より
～活動予定・報告～

文化研修部

秋田市PTA連合会会員研修会

文化研修部部长 赤尾閑 美佳子

秋田市PTA連合会文化研修部では、平成十九年度より秋田市教育委員会のご協力のもと「メディア・リテラシー研修会」を開催してまいりましたが今年度は秋田県教育委員会、秋田市教育委員会の両委員会にご協力を頂き、会員研修会を去る九月二十六日秋田県生涯学習センターにて開催致しました。参加会員の皆様には、秋田市出身 静岡英和学院大学 教授 佐々木光郎先生による演題「思春期の問題行動と家庭教育」を聴講頂きました。

また、市教育委員会からは「携帯電話についての現状と諸問題」、県教育委員会からは「青少年を取り巻く有害情報対策」についてお話し下さいました。

研修会当日はさまざまな行事が重なる中、百数十名の皆様にご参加頂きましたこと、研修会開催にあたりご協力頂きました皆様に心よりお礼申し上げます。

研修会で得られた情報を家庭、学校、地域で共有することで子どもたちをトラブルから少しでも回避出来たらと思っております。

参加者の皆様におかれましては是非、機会を見つけて頂き各校で研修会内容をお伝え下さればと願っております。

今後も会員の皆様のお役に立てる研修会を会員同士の「繋がり」を活かして頂きながら開催出来たらと思っておりますので、ご参加、ご協力の程、お願い申し上げます。



生活安全部

見守る愛を広げて

生活安全部部长 工藤明 美

生活安全部では、七月十一日に、第一回目の部会を開催しました。このなかで通学路および登下校時の安全確保に係わる危険箇所の情報提供もお願いしたところ、三十五校から情報提供をいただきました。子どもたちにとってまだまだたくさん危険箇所があることを実感しました。私たち保護者が多様化する社会のニーズに対応し、学校、家庭、地域との連携を図り、子どもたちの安全で安心な環境づくりのために、たくさん見守る目・アイ・愛を広げていきたいと思っております。

また部会終了後、防犯パトロール「マグネットシート」の配布を行いました。申し込み数が少なかつたですが、市内すべての小中学校が共通に使用し、子どもたちの安全を守る活動がどんどん広がっていくことを願っております。皆様のご協力をどうぞよろしく願っています。

十一月十二日に秋田県警・秋田市教育委員会学事課の出席をいただき、児童生徒の安心・安全に係る「情報交換会」を開催しました。二十日には

は第二回生活安全部を開き、「情報交換会」の内容をお伝えし、児童生徒の安全について、話し合いをしました。

十二月一日より第三十回目の「一元玉福祉募金」活動を実施し、二十六日には秋田市内の養護施設へ贈呈し役立てていただきます。

今年度もまた守るつ子メーブルが多く配信されています。情報を共有し、子どもたちの安全な生活を皆様とともに見守っていききたいと思っております。今後ともご協力をよろしくお願いたします。



平成21年度 一元玉福祉募金は第30回目を迎えました

平成二十一年度 球技大会結果報告

■八月二十九日(土)

第四十六回秋田市PTA親睦バレーボール大会

ゴム・ビニールボールⅡ秋田市立体育館
革ボールⅡ雄和体育館

○ゴムバレーの部

〈小学校の部〉

- 優勝 高清水小学校
- 準優勝 広面小学校
- 第三位 港北小学校
- 八橋小学校



高清水小学校

○ビニールバレーの部

〈小学校の部〉

- 優勝 東小学校
- 準優勝 港北小学校
- 第三位 旭川小学校
- 旭北小学校



東小学校

〈中学校の部〉

- 優勝 泉中学校
- 準優勝 勝平中学校
- 第三位 秋大附属中学校
- 將軍野中学校



泉中学校

〈中学校の部〉

- 優勝 外旭川中学校
- 準優勝 泉中学校
- 第三位 秋田東中学校
- 山王中学校



外旭川中学校

○革バレーの部

〈小学校の部〉

- 優勝 広面小学校
- 準優勝 寺内小学校
- 第三位 勝平小学校



広面小学校

〈中学校の部〉

- 優勝 御野場中学校
- 準優勝 泉中学校
- 第三位 城南中学校



御野場中学校

■九月十九日(土)・二十日(日)

第六十二回秋田市PTA親睦野球大会

秋田市向浜四面球場

〈小学校の部〉

- 優勝 高清水小学校
- 準優勝 勝平小学校
- 第三位 明德小学校
- 仁井田小学校



高清水小学校

〈中学校の部〉

- 優勝 飯島中学校
- 準優勝 秋田南中学校
- 第三位 下浜中学校
- 秋田北中学校



飯島中学校

表紙の説明

秋田市沿岸の南北に位置する新屋と土崎は、古くは漁業権などを巡って不仲とされており、今でも因縁めいたものがあつてか、あまり仲が良くないとされています。

このことに決着をつけることと、双方の交流を活発にするために、運動会でもお馴染みの「綱引き」で対決することになり、今回が二回目の大会となりました。

第一回目の二〇〇八年は新屋が勝利し、第二回目の今年も土崎が勝利しました。

表紙の写真にもあるように、子どもたちも地元の勝利のために必死に綱を引っ張りました。この綱引きをきっかけに、二つの地域の交流が進み「あのライバル関係は何だったのか？」とみんなが思えるようになれば良いですね。

あとがき

最近「新型インフルエンザ」と言う言葉をよく耳にします。

そのため、秋田市内の子どもたちのイベントが激減し、あきたっ子は「ネタ不足」の大ピンチでしたが、各校の皆様のご協力により本誌を発行出来ました事に感謝致します。

太平中学校

鈴木 正人